

妙泉陶房

石川県

加賀市伊切町ワ163-1

1975年(昭和50年)設立
0761-74-5471

<http://www.kutani-tyoza.ne.jp>



代表
山本 篤

「透光性磁器」の製造技術
を独自に高め、九谷焼
のイメージアップに貢献

原材料等を工夫し、透明性を高めた「透光性磁器」の製造技術を独自に高め、薄手で強度も備えた、白磁の美しい製品を開発。

透光性磁器の製造技術を高度化して作られた白磁は、より薄く、より白く

石川県工業試験場が開発した「透光性磁器」の製造技術を更に高度化し、薄手でより白磁の美しい製品を開発。この技術で作られた「大皿」が、平成12年、パリで開催されたメートル条約125周年記念として、我が国から「国際度量衡局」に贈呈された。また、同社の製品は宮内庁にも納入されている。

九谷焼産地の活性化・・・それはイメージアップと新たな販路開拓

この透光性磁器の製造技術を生かし、同社の創業者が理事長を務める加賀九谷陶磁器協同組合では、九谷焼の文字盤を持つ腕時計などの開発に取り組み、九谷焼のイメージアップや新しい販路の開拓による売り上げ増加に貢献している。

安心・安全で環境にやさしい製品

昔ながらの製造方法を守り続け、原材料の粘土は地元から産出された安全なものを使用しているが、リサイクルにも取組み資源の有効利用を徹底している。また、製造した製品に対しては、工業試験場に依頼して溶出鉛、溶出カドミウム試験などを実施し、製品の安全性を確認した上で出荷している。



贈呈された記念の大皿



九谷焼の腕時計



自社製品